学校訪問だより【4】 大町市立美麻小中学校

美麻の子どもたちの幸せを願って

令和7年9月11日
中信教育事務所
文責：鳥居正人

８月１９日（火）に、美麻小中学校の学校運営協議会を参観させていただきました。地域と学校が共に美麻の子どもたちのより豊かな学びを願い、熱心な議論を交わしました。学校運営協議会の中で、学校職員の「子どもたちの学びをもっと充実させたい」という願いを受け、それについて意見を交わしてる場面の様子を紹介させていただきます。

学校運営協議会の様子

学校運営協議会のメンバー
民生児童委員協議会会長・みあさ地域づくり委員会会長・有識者・千見神明宮宮司・児童クラブ職員・特認校保護者代表・地域づくりみあさ事務局長・みあさ地域づくり委員会委員・山村留学センター職員、美麻公民館長、地域学校協働コーディネーター、ＰＴＡ会長、校長、副校長、学校職員

協議事項
(1) 50周年記念事業について
(2) 学校諸課題についての意見交換
　①部活動　②学校予算　③働き方改革
(3) 美麻スクールパートナーズの活動状況

部活動の充実に向けて

美術部顧問：専門的な指導ができずに困っています。子どもたちの部活動がより一層充実するために、美術の専門的な指導をしてくれる人はいないでしょうか？

地域のAさん：講師の予算がつけられれば可能ではないか。毎日指導ができるかは難しいかもしれない。

地域のBさん：講師は資格を持っていないとダメですか？資格はなくても絵が好きで、熱心にやっている人であれば〇〇さん（地域の人）がいるけど。

地域のCさん：卒業生の〇〇くんはどう？美術に関することを熱心にやっているよ。頼んでみたらどうかな。

地域のDさん：地域移行しているので、美麻の地域だけで考えるのではなく、大町市のクラブに通うことでも良いのでは？その場合は、子どもがクラブに通えるように支援をしてあげればどうだろうか。

市民科（総合的な学習の時間）について

市民科とは、総合的な学習の時間のことです。美麻小中学校では、３年生（小３）～４年生（小４）をホップ期【内容：探検・体験】、５年生（小５）～７年生（中１）をステップ期【内容：体験・調査・対話】、８年生（中２）～９年生（中３）をジャンプ期【内容：協働】として、７年間を系統的に積み重ねていきます。

担当職員：市民科の年間計画を見直す必要があると考えます。理由①は現状では、ジャンプ期で目標が達成できないこと、理由②は先生方の経験年数によって差が出ること、理由③は昨年までの引き継ぎができないこと、７年生（中１）だけが時数が少ないことなどが理由です。そこで、５年生～９年生までを縦割りにして活動するのはどうでしょうか？　いくつかのコースを設定し、課題を追究していくのはどうでしょうか？

地域のEさん：市民科で重要である「課題発見力」が身につく活動が十分にできていない。自分たちのやりたいこと、地域の方がどう思っているかを考えてほしい。

地域のFさん：コースを作ってしまうと、課題が固定化してしまうのが心配。今までそうやってこなかったのは、新しい発見ができるように願っていたから。

学校運営協議会を通して、学校職員が地域の方を頼りにし、協議会メンバーが子どもたちの「より良い学び」や「つけたい力」、「地域の方の思い」などを考えながら議論している様子が伝わってきました。

美麻の子どもたちが主体的に学びに取り組むためにはどうしたらよいか。参加者全員が当事者となり、地域と学校が共に共通の目標やビジョンをもって「美麻の子どもたちの幸せ」を願い、「美麻の子どもたちの豊かな学び」を考え、熱き思いで真剣に語り合う、意見を出し合う学校運営協議会の様子に胸を打たれました。また地域と学校がパートナーとなってより良い関係を築きながら、子どもたちの成長を育んでいることを実感しました。